# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1　施策№ | 4-3-1 | | |
| 2　地域づくりの方向 | 子どもを共に育むまち | | |
| 3　政策 | 学校における教育 | | |
| 4　施策 | 「確かな学力」の育成 | | |
| 5　評価担当部 | 教育部 | | |
| 6　施策関連課 | 指導課 | 庶務課 | |
| | | | |
| 7　評価者 | 教育部長　兒玉　辰哉 | | |

| | |
|---|---|
| 8　施策の目標 | 確かな学力を育成するために、子どもたちの知識や技能に加えて、学ぶ意欲や自ら課題を発見し、主体的に判断して行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。<br>家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣や学習習慣、読書習慣の定着を図ります。 |
| 9　施策の現状と課題 | 【現状】<br>○全国学力・学習状況調査では、国語、算数・数学の全てで全国平均を上回っており、理科においては全国平均とほぼ同じレベルの学力状況である。一方、豊島区独自の学力調査では国語、算数・数学、英語の学力は定着している反面、社会科・理科の観点別の達成率は全国平均を下回っている学年もある。<br>【課題】<br>○社会科や理科等において、知識の質や量の定着及び学びの質や深まりを備えた学力の向上<br>○オリンピック・パラリンピック大会2020を控え、国際感覚に富む人材の育成と言語コミュニケーション能力の向上 |
| 10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等） | ○新学習指導要領の全面実施（小学校：平成32年度、中学校：平成33年度）<br>○発達障害等の児童・生徒数の増加<br>○家庭の経済状況等が要因となる家庭学習の低下 |
| 11　今年度の施策の取組方針 | ①学力調査の実施と授業改善推進プランを継続し、児童・生徒の学力向上を図る。<br>②小・中学校補習支援チューター事業を推進し、家庭学習の支援を強化する。<br>③ICT環境を整備することにより、アクティブ・ラーニングを充実させる。<br>④英語教育の充実と、R＆Cフェスタ（読書感想文コンクールなどの読書活動のこと。中学生からは読書活動と関連した英語による発表を行っている。）の実施により読書活動・言語活動の充実を図る。 |

12　投入コストの推移

| 費　目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費合計（千円） | 318,419 | 309,093 | 431,558 | 0 | 0 |
| うち一般財源分（千円） | 314,104 | 308,026 | 426,440 | 0 | 0 |

13　施策の達成度を測る指標の推移

| 指標(1) | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区実施の「基礎的・基本的な内容の定着に関する調査」における達成率（4教科平均）（小6）【%】 | | 目標値 | 87 | 87 | 87 | 87 | 87 |
| | | 実績値 | 86.5 | 87.5 | 87.3 | | |
| | | 達成率 | 99.4% | 100.6% | 100.3% | — | — |
| | | 達成状況 | B：相当程度達成 | A：達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 77.2 | 指標設定理由 | 区独自の学力調査であり、児童・生徒が確かな学力を身につけているかを把握する指標であるため。 | | | | |

| 指標(2) | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区実施の「基礎的・基本的な内容の定着に関する調査」における達成率（5教科平均）（中3）【%】 | | 目標値 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 |
| | | 実績値 | 80.2 | 82.2 | 84.2 | | |
| | | 達成率 | 100.3% | 102.8% | 105.3% | — | — |
| | | 達成状況 | A：達成 | A：達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 22.8 | 指標設定理由 | 区独自の学力調査であり、児童・生徒が確かな学力を身につけているかを把握する指標であるため。 | | | | |

14　施策達成状況

| 平成30年度達成状況 | 101.5% | 【達成状況分析】 |
|---|---|---|
| A：達成 | | ○小6（4教科）及び中3（5教科）の指標において、目標値に対し実績値はそれぞれ100%を達成している。<br>○小学校の社会科、理科については小5、6で全国平均を下回っていることから、実験・観察の充実やICTの活用等により問題解決型学習の一層の推進など、教員の指導方法の改善がなお必要である。<br>○中学5教科平均の達成率も目標値を上回っているが、学年で社会科と理科の達成率が全国平均を下回っていることから、探究的な学習活動を充実させるなど、アクティブ・ラーニングを更に推進する必要がある。 |
| | | 【指標重要度の割合の設定理由】 |
| | | ○区立小学校児童数と同中学校生徒数の人数割合により按分している。 |

| | |
|---|---|
| 15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析 | ○全国・都・区の学力調査結果を詳細に分析し、弱点への補強方法の研究・開発を行い、授業改善プランに反映することが重要である。<br>○ICTの活用などにより、問題解決型の授業を図る必要がある。 |

# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| | |
|---|---|
| 16　施策貢献度の考え方<br>（設定の根拠・理由） | ○新学習指導要領に明示された小学校におけるプログラミング学習の導入への対応に加え、児童・生徒の基礎的・基本的な学力及び確かな学力向上の重要な基盤となることから「ICT環境整備・活用事業」を★★★とした。<br>○英語教育充実への取り組みが本施策の成果に現れやすいこと、対象が全生徒・児童と広いことにより「確かな学力育成事業」を★★とした。<br>○「魅力ある授業づくり事業」は、放課後における学習支援をその内容としており、学力向上に重要な貢献をしているが、対象が希望児童のみであることから★とした。 |
| 17　来年度の方針<br>（課題解決策や改善策、成果向上策について） | ○自ら学ぼうとする意欲や態度を育て、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力及び情報活用の能力を育む。<br>○教科の基礎的な学力の定着を図るため、基礎となる言語活動の一層の充実を図る。 |
| 18　新規・拡充事業の<br>効果や必要性 | ○英語リーダー養成研修を導入する。<br>○特別支援教育の必要性が増大していることから、児童・生徒の学習を効果的に進めるため、それらの児童・生徒の状態に応じたコンピューター等の教材・教具を拡充する。 |

19　施策を構成する計画事業

| 事業整理番号 | 事業名 | | 項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1301-01 | ICT環境整備・活用事業 | | 事業費合計（千円） | 258,458 | 247,419 | 318,504 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 255,221 | 247,419 | 318,504 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★★ | ★★★ | ★★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | S:拡充 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-01 | 確かな学力育成事業<br>（指導書・英語・読書活動） | | 事業費合計（千円） | 53,446 | 55,232 | 107,677 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 53,251 | 55,046 | 103,258 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-02 | 魅力ある授業づくり事業 | | 事業費合計（千円） | 6,515 | 6,442 | 5,377 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 5,632 | 5,561 | 4,678 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★ | ★ | ★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |

# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1　施策№ | 4-3-2 | | |
| 2　地域づくりの方向 | 子どもを共に育むまち | | |
| 3　政策 | 学校における教育 | | |
| 4　施策 | 「豊かな人間性」の育成 | | |
| 5　評価担当部 | 教育部 | | |
| 6　施策関連課 | 指導課 | 学務課 | |
| | | | |
| 7　評価者 | 教育部長　兒玉　辰哉 | | |

| | |
|---|---|
| 8　施策の目標 | 学校の教育活動全体を通して道徳教育や人権教育を推進するとともに、人や社会、自然や環境等と直接的にかかわる様々な体験活動を通して、自己肯定感を高め、人と人とが繋がる心を育て、子どもたちの自己肯定感や他者と人間関係を形成する力を培います。 |
| 9　施策の現状と課題 | 【現状】<br>○「豊島区いじめ防止対策推進条例」及び「豊島区いじめ防止基本方針」（いずれも平成26年策定）により、いじめ防止の取り組みを強化しているが、平成30年において不登校児童・生徒数は、約100名（1%）存在している。<br>○区の学力・学習状況調査の際に実施した学校生活状況調査において、「学校の決まりを守っているか」との質問に、「守っていない」「あまり守っていない」と回答した割合が、小学校6年生は16.6%、中学校3年生は5.0%である。<br>【課題】<br>○規範意識を高めること<br>○幼児・児童・生徒の自尊感情及び他者と人間関係を形成する力、人間形成につながる課題解決の育成<br>○家庭での親子のふれあい、地域での大人と子ども及び子ども同士の交流の活性化 |
| 10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等） | ○平成25年　いじめ防止対策推進法施行（文部科学省）<br>○平成26年　豊島区いじめ防止対策推進条例制定<br>○小学校平成30年度～　中学校平成31年度～　「特別の教科 道徳」全面実施 |
| 11　今年度の施策の取組方針 | ①豊島区教育委員会いじめ防止対策検討委員会を開催（年3回）し、いじめの未然防止・早期解決を目指す。<br>②小学校3年生以上を対象に心理検査「hyper－QU」を年2回実施し、自尊感情や自己肯定感等の状況を把握し、指導に役立てる。<br>③自然環境に関わる体験活動として小学校移動教室を引き続き実施する。 |

12　投入コストの推移

| 費　目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費合計（千円） | 132,394 | 156,733 | 159,138 | 0 | 0 |
| うち一般財源分（千円） | 132,394 | 156,733 | 159,138 | 0 | 0 |

13　施策の達成度を測る指標の推移

| 指標(1) | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「学校へ行くのが楽しい」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（小6）【%】 | | 目標値 | 88.2 | 88.6 | 89 | 89.4 | 90 |
| | | 実績値 | 89.7 | 87.7 | 89.9 | | |
| | | 達成率 | 101.7% | 99.0% | 101.0% | — | — |
| | | 達成状況 | A：達成 | B：相当程度達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 38.6 | 指標設定理由 | 児童が学校生活に満足し、様々な教育活動に取り組み、友だちと仲良く生活を送ることを示す指標であるため。 | | | | |

| 指標(2) | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「学校へ行くのが楽しい」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（中3）【%】 | | 目標値 | 85.6 | 86.2 | 86.8 | 87.4 | 88 |
| | | 実績値 | 86.3 | 86.1 | 85.8 | | |
| | | 達成率 | 100.8% | 99.9% | 98.8% | — | — |
| | | 達成状況 | A：達成 | B：相当程度達成 | B：相当程度達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 11.4 | 指標設定理由 | 児童が学校生活に満足し、様々な教育活動に取り組み、友だちと仲良く生活を送ることを示す指標であるため。 | | | | |

| 指標（3） | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「人の役に立つことを、自分から進んですることがある」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（小6）【%】 | | 目標値 | 81 | 81.5 | 82 | 82.5 | 83 |
| | | 実績値 | 81.9 | 76.9 | 77.9 | | |
| | | 達成率 | 101.1% | 94.4% | 95.0% | — | — |
| | | 達成状況 | A：達成 | B：相当程度達成 | B：相当程度達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 38.6 | 指標設定理由 | 児童が人と繋がる心や、社会参画への意欲や態度が育成されていることを示す指標であるため。 | | | | |

| 指標（4） | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「人の役に立つことを、自分から進んですることがある」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（中3）【%】 | | 目標値 | 80.2 | 80.6 | 81 | 81.4 | 82 |
| | | 実績値 | 77.2 | 72.3 | 73.1 | | |
| | | 達成率 | 96.3% | 89.7% | 90.2% | — | — |
| | | 達成状況 | B：相当程度達成 | B：相当程度達成 | B：相当程度達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 11.4 | 指標設定理由 | 生徒が人と繋がる心や、社会参画への意欲や態度が育成されていることを示す指標であるため。 | | | | |

14　施策達成状況

| 平成30年度達成状況 | 97.2% | 【達成状況分析】 |
|---|---|---|
| B：相当程度達成 | | ○心理検査「hyper－QU」の実施頻度を29年度から年2回に拡大したこと等の効果により、教員が学級の状態をより客観的に把握することが可能となり、生徒指導に反映したことで、目標値に近い実績値を達成している。 |
| | | 【指標重要度の割合の設定理由】 |
| | | ○いずれも区学力調査と同時に実施する意識調査の設問に対する回答の割合であり、指標の重要度としての軽重を判断することが困難であるため同等とし、各設問の小学校・中学校の回答を児童生徒数割合で按分した。 |

# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| | |
|---|---|
| 15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析 | 学齢期におけるいじめ防止対策や移動教室の実施、また中学生による職場体験事業に至るまで、豊かな人間性を育むことに繋がる事業を各学年の児童・生徒において網羅的に実施することが出来ており、意識調査結果の水準に表れているものと推察できる。 |
| 16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由） | ○自尊感情や自己肯定感の状況把握が、学校への満足度を知る有効な手段であることから「いじめ防止対策推進事業」を★★★とした。<br>○連合行事や道徳地区公開講座、中学生の職場体験事業等は、他者とのより良い人間関係を育むとともに、課題解決力が培われることから「豊かな人間性育成事業」を★★とした。<br>○芸術家等を派遣することで、児童・生徒の潜在的な力を発揮させ、表現力を高める「次世代文化の担い手事業」は限定的に実施されていることから★とした。 |
| 17　来年度の方針（課題解決策や改善策、成果向上策について） | ○豊島区教育委員会いじめ防止対策検討委員会を3回程度開催し、いじめ対策推進条例及び基本方針の改正を図る。 |
| 18　新規・拡充事業の効果や必要性 | ○学校における危機管理マネジメント支援の体制を整備し、いじめ等の発生に備える。これにより、いじめ等の拡大・波及を予防する。 |

19　施策を構成する計画事業

| 事業整理番号 | 事業名 | | 項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1302-02 | 移動教室等実施経費 | | 事業費合計（千円） | 113,607 | 135,083 | 137,845 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 113,607 | 135,083 | 137,845 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | S:拡充 | A:現状維持 | | |
| 1305-03 | 豊かな人間性育成事業 | | 事業費合計（千円） | 10,040 | 9,629 | 9,163 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 10,040 | 9,629 | 9,163 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-04 | 次世代文化の担い手育成事業 | | 事業費合計（千円） | 3,320 | 3,320 | 3,320 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 3,320 | 3,320 | 3,320 | | |
| | | | 現状評価 | B：普通 | B：普通 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★ | ★ | ★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-05 | いじめ防止対策推進事業 | | 事業費合計（千円） | 5,427 | 7,851 | 7,960 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 5,427 | 7,851 | 7,960 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★★ | ★★★ | ★★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-06 | 東京都道徳教育推進拠点校事業 | | 事業費合計（千円） | 0 | 850 | 850 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 0 | 850 | 850 | | |
| | | | 現状評価 | | | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | | | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 国・都補助 | 今後の事業の方向性 | | | A:現状維持 | | |

# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1　施策№ | 4-3-3 | | |
| 2　地域づくりの方向 | 子どもを共に育むまち | | |
| 3　政策 | 学校における教育 | | |
| 4　施策 | 「健やかな心と体」の育成【重点】 | | |
| 5　評価担当部 | 教育部 | | |
| 6　施策関連課 | 学務課 | 指導課 | |
| | | | |
| 7　評価者 | 教育部長　　兒玉　辰哉 | | |

| | |
|---|---|
| 8　施策の目標 | 子どもたちの運動・スポーツに対する関心や意欲を向上させるとともに、運動習慣の定着、健康の増進など、豊かな生活を送るための基礎を培います。<br>子どもたちに危険予測と回避能力及び安全・安心な環境づくりに貢献できる資質・能力を身に付けさせます。 |
| 9　施策の現状と課題 | 【現状】<br>○本区の子どもの体力・運動能力は全国平均と比べると低い。<br>○交通事故、自然災害の発生など幼児・児童・生徒を取り巻く環境には多くの危険が潜んでいる。<br>【課題】<br>○生活習慣の確立<br>○危険を予測し回避する能力の獲得 |
| 10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等） | ○令和2年（2020年）にはスポーツと文化の祭典である東京オリンピック・パラリンピックが開催される。今後、国際化が加速する社会の中で、豊かな人間関係を築き、活躍するグローカル（グローバルかつローカル）な資質・能力を備えた人材育成への要望が高まる。 |
| 11　今年度の施策の取組方針 | ①インターナショナルセーフスクール認証取得に向けた事前審査・現地審査及び認証式典を実施する。<br>②オリンピック・パラリンピック教育を全幼稚園・小・中学校において実施する。 |

12　投入コストの推移

| 費　目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費合計（千円） | 890,722 | 937,631 | 934,840 | 0 | 0 |
| うち一般財源分（千円） | 885,222 | 927,767 | 926,951 | 0 | 0 |

13　施策の達成度を測る指標の推移

| 指標(1) | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査における総合得点の年次推移（小6男子）【点】 | | 目標値 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| | | 実績値 | 60.4 | 60.7 | 61 | | |
| | | 達成率 | 100.7% | 101.2% | 101.7% | — | — |
| | | 達成状況 | A：達成 | A：達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 25 | 指標設定理由 | 総合得点が、運動・スポーツを通じて、児童・生徒の跳躍力や柔軟性、持久力など健やかな心と体が育成されているかを把握する指標であるため | | | | |

| 指標(2) | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査における総合得点の年次推移（小6女子）【点】 | | 目標値 | 62 | 62 | 62 | 62 | 62 |
| | | 実績値 | 60.8 | 62 | 62 | | |
| | | 達成率 | 98.1% | 100.0% | 100.0% | — | — |
| | | 達成状況 | B：相当程度達成 | A：達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 25 | 指標設定理由 | 総合得点が、運動・スポーツを通じて、児童・生徒の跳躍力や柔軟性、持久力など健やかな心と体が育成されているかを把握する指標であるため | | | | |

| 指標(3) | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査における総合得点の年次推移（中3男子）【点】 | | 目標値 | 47 | 47 | 47 | 47 | 47 |
| | | 実績値 | 46.5 | 49.3 | 49.2 | | |
| | | 達成率 | 98.9% | 104.9% | 104.7% | — | — |
| | | 達成状況 | B：相当程度達成 | A：達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 25 | 指標設定理由 | 総合得点が、運動・スポーツを通じて、児童・生徒の跳躍力や柔軟性、持久力など健やかな心と体が育成されているかを把握する指標であるため | | | | |

| 指標(4) | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査における総合得点の年次推移（中3女子）【点】 | | 目標値 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| | | 実績値 | 50.6 | 50.6 | 53.1 | | |
| | | 達成率 | 101.2% | 101.2% | 106.2% | — | — |
| | | 達成状況 | A：達成 | A：達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 25 | 指標設定理由 | 総合得点が、運動・スポーツを通じて、児童・生徒の跳躍力や柔軟性、持久力など健やかな心と体が育成されているかを把握する指標であるため | | | | |

14　施策達成状況

| 平成30年度達成状況 | 103.1% | 【達成状況分析】 |
|---|---|---|
| A：達成 | | 東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査における総合得点の年次推移が指標としている各学年ですべて100%を超えているため、左記の判断とさせていただいた。 |
| | | 【指標重要度の割合の設定理由】 |
| | | 子どもの体力・運動能力の向上は、本区の大きな課題である一方、健康な身体づくりに取り組むことはすべての子ども達にとって有益であること。そして小学校6年生、中学校3年生はそれぞれが将来に向かって大きく羽ばたく時期でもあることから、この年次の運動能力を指標重要度に設定し、平等に割り振った。 |

# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| | |
|---|---|
| 15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析 | 児童・生徒の将来にわたっての健康な身体づくりに貢献している。定期健康診断や学校給食の実施等を土台としつつ、オリンピック・パラリンピックを機に体力・運動能力の向上につなげるような取り組みが実施できている。 |
| 16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由） | ○安全・安心なまちづくり、学校づくりは、豊島区の目指す最重要施策であり、児童・生徒が自分の安全を守ることのみならず、地域の安全を守る担い手に育成することが重要であることから、「インターナショナルセーフスクール推進事業」を★★★とした。<br>○体力・運動能力の向上は、本区の大きな課題であり、オリンピック・パラリンピックを機に児童・生徒が将来にわたって健康な身体づくりに取り組むことは有益なことから、「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」を★★★とした。<br>○その他の事業については、義務的なものが多数であり、施策効果という点では貢献度の設定が困難である。施策と事務事業の関係について再構築する必要があると考える。 |
| 17　来年度の方針（課題解決策や改善策、成果向上策について） | ○平成30年度は、高南小学校におけるインターナショナルセーフスクール（ISS）の認証の新規取得、朋有小学校・富士見台小学校における再認証取得を目指して活動する。31年度以降、インターナショナルセーフスクール（ISS）のノウハウを全校で共有する取り組み（ブロック内1校認証による全校化）を推進する。<br>○う歯予防や健康診断等各事業について、引き続き関係機関等と連携し、効率的・効果的な方法を検討しながら実施する。 |
| 18　新規・拡充事業の効果や必要性 | ○本区の給食費は、都内で最も高い水準であることから、現状を維持するためには、食材費補助等を拡充する必要がある。 |

19　施策を構成する計画事業

| 事業整理番号 | 事業名 | | 項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1302-04 | う歯予防経費 | | 事業費合計（千円） | 12,005 | 11,207 | 11,266 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 12,005 | 11,207 | 11,266 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1302-05 | 定期健康診断経費 | | 事業費合計（千円） | 25,149 | 25,327 | 25,128 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 25,149 | 25,327 | 25,128 | | |
| | | | 現状評価 | B：普通 | B：普通 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | 義務的事業 | 義務的事業 | 義務的事業 | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1302-06 | 就学時健康診断経費 | | 事業費合計（千円） | 5,878 | 5,866 | 5,915 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 5,878 | 5,866 | 5,915 | | |
| | | | 現状評価 | B：普通 | B：普通 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | 義務的事業 | 義務的事業 | 義務的事業 | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-07 | インターナショナルセーフスクール推進事業 | | 事業費合計（千円） | 10,652 | 10,037 | 9,113 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 10,652 | 10,037 | 9,113 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★★ | ★★★ | ★★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | S:拡充 | S:拡充 | B:改善・見直し | | |
| 1305-06 | オリンピック・パラリンピック教育推進事業 | | 事業費合計（千円） | 9,591 | 10,411 | 8,442 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 1,700 | 1,700 | 1,700 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★★ | ★★★ | ★★★ | | |
| | 事業特性2 | 国・都補助 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-09 | アクティブライフ研究実践校事業 | | 事業費合計（千円） | 1,859 | 2,003 | 1,997 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 850 | 850 | 850 | | |
| | | | 現状評価 | | | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | | | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 国・都補助 | 今後の事業の方向性 | | | A:現状維持 | | |

# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| 20　施策を構成する一般事業 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業整理番号 | 事業名 | | 項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 1302-07 | 学校給食管理運営経費 | | 事業費合計（千円） | 52,837 | 76,181 | 70,423 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 52,837 | 76,181 | 70,423 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 政策的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | | | | |
| 1302-08 | 学校給食調理業務委託経費 | | 事業費合計（千円） | 617,517 | 637,612 | 642,809 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 617,517 | 637,612 | 642,809 | | |
| | | | 現状評価 | B：普通 | B：普通 | | | |
| | 事業特性1 | 政策的事業 | 施策貢献度 | ★ | ★ | ★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | | | | |
| 1302-09 | プール運営経費 | | 事業費合計（千円） | 9,988 | 11,604 | 12,287 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 11,688 | 11,604 | 12,287 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 政策的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | A:現状維持 | | | |
| 1302-10 | 夏季プール運営経費 | | 事業費合計（千円） | 3,285 | 4,583 | 4,572 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 4,985 | 4,583 | 4,572 | | |
| | | | 現状評価 | B：普通 | B：普通 | | | |
| | 事業特性1 | 政策的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | A:現状維持 | | | |
| 1302-11 | 学校環境衛生経費 | | 事業費合計（千円） | | | | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | | | | | |
| | | | 現状評価 | | | | | |
| | 事業特性1 | 義務的事業 | 施策貢献度 | 義務的事業 | 義務的事業 | 義務的事業 | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | | | | |
| 1302-12 | 豊島区学校保健会関係経費 | | 事業費合計（千円） | 5,819 | 5,815 | 5,804 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 5,819 | 5,815 | 5,804 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 政策的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1302-13 | 学校栄養士関係経費 | | 事業費合計（千円） | 52,310 | 52,849 | 52,747 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 52,310 | 52,849 | 52,747 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 政策的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1302-14 | 嘱託医報酬経費 | | 事業費合計（千円） | 71,986 | 71,999 | 71,998 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 71,986 | 71,999 | 71,998 | | |
| | | | 現状評価 | B：普通 | B：普通 | | | |
| | 事業特性1 | 義務的事業 | 施策貢献度 | 義務的事業 | 義務的事業 | 義務的事業 | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1302-15 | 災害共済給付経費 | | 事業費合計（千円） | 11,846 | 12,137 | 12,339 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 11,846 | 12,137 | 12,339 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 政策的事業 | 施策貢献度 | ★ | ★ | ★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | A:現状維持 | A:現状維持 | | |

# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1　施策№ | 4-3-4 | | |
| 2　地域づくりの方向 | 子どもを共に育むまち | | |
| 3　政策 | 学校における教育 | | |
| 4　施策 | 教師力の向上と教育環境の整備 | | |
| 5　評価担当部 | 教育部 | | |
| 6　施策関連課 | 指導課 | 学務課 | 教育センター |
| | | | |
| 7　評価者 | 教育部長　兒玉　辰哉 | | |

| | |
|---|---|
| 8　施策の目標 | 質の高い学校教育を実現するために、子どもたちや保護者はもとより、広く社会から尊敬され、信頼される実践力の高い教員を育成します。<br>子どもたちの知的好奇心や探究心、豊かな心を育み、知・徳・体の調和のとれた「確かな学力」の定着を図り、より良い教育環境の整備・充実に努めます。 |
| 9　施策の現状と課題 | 【現状】<br>○全国学力・学習状況の結果が全国上位となるなど成果を上げている一方で、学力の二極化なども指摘されている。<br>○特別な支援を要する児童・生徒が増加している。<br>○教員の若年化傾向は依然続いている。<br>【課題】<br>○授業と学びのモデルチェンジ<br>○児童・生徒一人ひとりへのきめ細やかな指導方法や指導内容の充実<br>○若手教員の育成のための中堅教員の意図的・計画的な人材育成 |
| 10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等） | ○平成25年に実施したOECD 国際教員指導環境調査（TALIS）結果によれば、日本の教員は、校内研修等で日頃から共に学び合い、指導改善を図っている一方で、勤務時間の長さや人員不足感の大きさ等が指摘されている。<br>○障害を理由とする差別の解消に関する法律（平成25年法律第65号）は、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害者差別の解消を推進することを目的として、平成25年に制定されている。 |
| 11　今年度の施策の取組方針 | ①教員の資質・能力を向上させる研修を推進する。<br>②学校図書館を学習情報センター化する整備と読書活動を充実させるための環境整備を行う。<br>③個々の児童・生徒に応じた特別支援教育を充実させる。 |

12　投入コストの推移

| 費　目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費合計（千円） | 416,488 | 425,000 | 488,112 | 0 | 0 |
| うち一般財源分（千円） | 411,603 | 419,413 | 478,025 | 0 | 0 |

13　施策の達成度を測る指標の推移

| 指標(1) | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「学校の授業はよくわかる」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（小6）【%】 | | 目標値 | 92.9 | 93.2 | 93.5 | 93.8 | 94 |
| | | 実績値 | 91.6 | 93.6 | 92.8 | | |
| | | 達成率 | 98.6% | 100.4% | 99.3% | — | — |
| | | 達成状況 | B：相当程度達成 | A：達成 | B：相当程度達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 38.6 | 指標設定理由 | 教員の本務は学習指導にあり、分かりやすい授業は、教師力があることを示す指標であるため。 | | | | |

| 指標(2) | 補助指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「学校の授業はよくわかる」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（中3）【%】 | | 目標値 | 84.8 | 85.1 | 85.4 | 85.7 | 86 |
| | | 実績値 | 87.3 | 93.4 | 89 | | |
| | | 達成率 | 102.9% | 109.8% | 104.2% | — | — |
| | | 達成状況 | A：達成 | A：達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 11.4 | 指標設定理由 | 教員の本務は学習指導にあり、分かりやすい授業は、教師力があることを示す指標であるため。 | | | | |

| 指標（3） | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「困った時に相談できる先生がいる」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（小6）【%】 | | 目標値 | 71.2 | 72.2 | 73.2 | 74.2 | 75 |
| | | 実績値 | 74.3 | 74.6 | 73.6 | | |
| | | 達成率 | 104.4% | 103.3% | 100.5% | — | — |
| | | 達成状況 | A：達成 | A：達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 38.6 | 指標設定理由 | 児童に信頼される教員が育成されていることを示す指標であるため。 | | | | |

| 指標（4） | 基本計画指標 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 「困った時に相談できる先生がいる」について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合（中3）【%】 | | 目標値 | 66.8 | 67.6 | 68.4 | 69.2 | 70 |
| | | 実績値 | 66.6 | 57.5 | 70.4 | | |
| | | 達成率 | 99.7% | 85.1% | 102.9% | — | — |
| | | 達成状況 | B：相当程度達成 | B：相当程度達成 | A：達成 | | |
| 指標重要度の割合(%) | 11.4 | 指標設定理由 | 生徒に信頼される教員が育成されていることを示す指標であるため。 | | | | |

14　施策達成状況

| 平成30年度達成状況 | 100.7% |
|---|---|
| A：達成 | 【達成状況分析】<br>○「学校の授業はよくわかる」について、肯定的に評価する生徒の割合が9割近くであることから、本施策は十分成果を挙げている。<br>【指標重要度の割合の設定理由】<br>○区学力調査と同時に実施する意識調査の設問に対する回答の割合であり、指標の重要度としての軽重を判断することが困難であるため同等とし、各設問の小学校・中学校の回答を児童生徒数割合で按分した。 |

# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| | |
|---|---|
| 15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析 | ○教師力の向上には、教員研修や教育連携など多岐にわたる事業の効果を測ることが必要である。<br>○学校図書館に司書を配置し、児童・生徒の調べ学習への支援を行うなど、教育環境の充実についてのベンチマークを行うことが有用である。<br>○特別な支援が必要な児童・生徒の増加に対する新たな対応が求められている。 |
| 16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由） | ○東京都特別支援教育推進計画（第2期）において、通常の学級で児童・生徒が学習に集中できる環境を整え学級運営の安定化を図ることが不可欠との方針がある。特別支援教育の支援体制の充実に向けて、教育支援員を適切に配置することで教員の多忙感の解消に寄与し、きめ細やかな授業実施への貢献度が高いと判断し「区立小・中学校教育支援員経費」を★★★とした。<br>○平成25年度から派遣を開始し、教員の授業改善をすることにより児童・生徒の学力向上が図られたとの成果を上げたことから「能代市との教育連携事業」を★★とした。<br>○「教育都市としまを担う人材育成事業」、「保健関係経費」については、義務的性質のものであり、施策への貢献する度合いが少ないと判断したため★とした。 |
| 17　来年度の方針（課題解決策や改善策、成果向上策について） | ○学力調査の結果に基づく授業改善推進プランのさらなる充実や、学力調査と心理検査「hyperーQU」との相関関係に基づく授業改善を進め、取得・活用・探究の学習活動を確実に実施し、すべての教員の授業力の向上を図る。<br>○高い授業力をもつ教員を授業改善リーダーとして派遣研修の機会を与える。また、指導教諭を中心として、教員が互いに切磋琢磨する取り組みを通して、授業力を高めていく。<br>○特別支援教育巡回相談員による巡回相談や特別支援学級指導員・教育支援員の配置など、個に応じた特別な支援を受けることができる児童・生徒を増やしていく。 |
| 18　新規・拡充事業の効果や必要性 | ○中学校における特別支援教室の実施<br>○本年度5月現在、小・中学校に55名の教育支援員を配置し、学級経営の安定化を図っているが、加配が必要である。 |

19　施策を構成する計画事業

| 事業整理番号 | 事業名 | | 項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1305-12 | 能代市との教育連携事業 | | 事業費合計（千円） | 2,859 | 3,015 | 2,951 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 2,859 | 3,015 | 2,951 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-10 | 学校図書館司書の配置事業 | | 事業費合計（千円） | 12,691 | 850 | 38,219 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 12,691 | 850 | 33,986 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-11 | 教育都市としまを担う人材育成事業 | | 事業費合計（千円） | 24,293 | 24,257 | 23,772 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 24,293 | 23,743 | 23,228 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1305-17 | 区立小・中学校小規模校授業づくり支援事業 | | 事業費合計（千円） | 8,767 | 8,754 | 9,651 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 8,392 | 8,105 | 9,065 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1306-01 | 区立幼小中特別支援教育推進事業経費 | | 事業費合計（千円） | 8,890 | 11,511 | 11,793 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 8,890 | 11,511 | 11,793 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1306-02 | 特別支援学級指導員等関係経費 | | 事業費合計（千円） | 51,540 | 50,264 | 42,698 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 47,132 | 45,908 | 42,698 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1306-03 | 区立小・中学校教育支援員経費 | | 事業費合計（千円） | 46,529 | 45,065 | 47,524 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 46,427 | 44,997 | 47,457 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★★ | ★★★ | ★★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | A:現状維持 | | |
| 1302-19 | 学校維持管理経費 | | 事業費合計（千円） | | | | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | | | | | |
| | | | 現状評価 | | | | | |
| | 事業特性1 | 維持管理事業 | 施策貢献度 | 義務的事業 | 義務的事業 | | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | | | | |

# 平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

| 20　施策を構成する一般事業 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業整理番号 | 事業名 | | 項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 1302-17 | 理科教育振興経費 | | 事業費合計（千円） | 11,390 | 12,409 | 12,570 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 11,390 | 12,409 | 12,570 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★★ | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 国・都補助 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | A:現状維持 | 一般事業(評価対象外) | | |
| 1302-18 | 学校配付予算 | | 事業費合計（千円） | 230,773 | 253,736 | 261,619 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 230,773 | 253,736 | 261,619 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | ★★★ | ★★★ | ★★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | A:現状維持 | 一般事業(評価対象外) | 一般事業(評価対象外) | | |
| 1302-20 | 保健関係経費 | | 事業費合計（千円） | 18,756 | 15,139 | 15,532 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | 18,756 | 15,139 | 15,532 | | |
| | | | 現状評価 | A：良好 | A：良好 | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | | ★★ | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 区単独 | 今後の事業の方向性 | | 一般事業(評価対象外) | 一般事業(評価対象外) | | |
| 1305-13 | スクール・サポート・スタッフ配置事業 | | 事業費合計（千円） | | | 21,783 | | |
| | | | うち一般財源分（千円） | | | 17,126 | | |
| | | | 現状評価 | | | | | |
| | 事業特性1 | 任意的事業 | 施策貢献度 | | | ★★ | | |
| | 事業特性2 | 国・都補助 | 今後の事業の方向性 | | | 一般事業(評価対象外) | | |